

【資料8】アプローチカリキュラム

期	9月～10月	11月～12月	1月～3月
ねらい	健康な心と体	○戸外で十分体を動かして友だちと一緒に遊びや仕事を進める楽しさを味わう ○週の予定や1日の流れを知る ○自分で活動を選び楽しんで取り組む ○ルールのある遊びを楽しむ ○友だちと積極的に体を動かす活動に取り組み、一緒に遊ぶ充実感を味わう ○困っている友だちに気付き、助けたり励ましたりする ○自分が役立っていることを喜び、いろいろな仕事に取り組もうとする ○当番活動や掃除タイムに積極的に関わりたい心で心地よさを感じる	○冬の健康生活に必要な習慣や態度、健康な生活リズムを身に付ける ○正しい姿勢に関心を持ち、自分で気を付ける ○クラスやグループの中で役割を受け持ち、目的を持って遊びを進める ○入学への喜びや期待を膨らませ、成長の自覚を持って行動する ○自分で決めたルールに従って集団遊びを楽しむ ○友だちの良さに気付き、協力して遊びを発展させる ○自分たちの生活の場を、みんなで協力して美しく飾ったり、使いやすく整えたりする
	自立心	○小学生とのふれあいを楽しみ、喜んで活動する ○興味のある物やことを調べたり考えたりする ○身近な事象を見たり触れたり扱ったりする中で、発見したり感動したりする	○小学生と関わることで、安心して就学を迎えようとする ○地域の公園などでの過ごし方が分かり、公共のマナーやルールを守る ○友だちと一緒に身近な環境に関わり、予想したり、確かめたり、ふり返ったりする ○身近な事象に関心を持ち、それを取り入れて遊んだり、動植物のようすから春の訪れに気付いたりする
	協同性	○身近な秋の虫や植物に触れ、遊んだり観察したりして興味を持つと共に命に気付き大切にすることを喜び、いろいろな仕事に取り組む ○日常生活の中で数量・図形・位置・時間に関心を持ち、生活の中で使って遊ぶ	○日常生活に必要な文字・数などに関心を持ち、遊びの中に取り入れる ○色々な体験を通してイメージを膨らませ、感動したことを伝え合う ○友だちとの対話を楽しみ、気持ちの伝わっていく心地よさを味わう ○自分のイメージを動きや言葉などで表現し、演じて遊ぶ楽しさを味わう ○材料や用具を目的に合わせて選び、のびのびと表現し、作品を大切に扱う
	道徳性・規範意識の芽生え	○考えたことや感じたことを相手に分かるように話す ○物語の読み聞かせの中で、想像する楽しさを味わう ○リズムカルな動きを思いきり体を使って表現する ○友だちと歌や楽器遊びをする中で曲の感じやリズムの変化を楽しむ	○冬以外の季節や生活の変化に気付くとともに自然物を使ってさまざまな遊びを楽しむ ○生活の中で使う言葉や文字・記号の意味が分かるようになる ○文字が自分たちの表現したいことを伝える手段であることを知り、取り入れて遊ぶ ○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ○リズムカルに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ ○様々な素材や用具を利用してイメージを実現したり、友だちと協力して製作に取り組む
	社会生活との関わり	○考えたことや感じたことを相手に分かるように話す ○物語の読み聞かせの中で、想像する楽しさを味わう ○リズムカルな動きを思いきり体を使って表現する ○友だちと歌や楽器遊びをする中で曲の感じやリズムの変化を楽しむ	○生活の中で使う言葉や文字・記号の意味が分かるようになる ○文字が自分たちの表現したいことを伝える手段であることを知り、取り入れて遊ぶ ○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ○リズムカルに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ ○様々な素材や用具を利用してイメージを実現したり、友だちと協力して製作に取り組む
	思考力の芽生え	○考えたことや感じたことを相手に分かるように話す ○物語の読み聞かせの中で、想像する楽しさを味わう ○リズムカルな動きを思いきり体を使って表現する ○友だちと歌や楽器遊びをする中で曲の感じやリズムの変化を楽しむ	○生活の中で使う言葉や文字・記号の意味が分かるようになる ○文字が自分たちの表現したいことを伝える手段であることを知り、取り入れて遊ぶ ○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ○リズムカルに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ ○様々な素材や用具を利用してイメージを実現したり、友だちと協力して製作に取り組む
	自然との関わり・生命尊重	○考えたことや感じたことを相手に分かるように話す ○物語の読み聞かせの中で、想像する楽しさを味わう ○リズムカルな動きを思いきり体を使って表現する ○友だちと歌や楽器遊びをする中で曲の感じやリズムの変化を楽しむ	○生活の中で使う言葉や文字・記号の意味が分かるようになる ○文字が自分たちの表現したいことを伝える手段であることを知り、取り入れて遊ぶ ○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ○リズムカルに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ ○様々な素材や用具を利用してイメージを実現したり、友だちと協力して製作に取り組む
	数量・図形、文字等への関心・感覚	○考えたことや感じたことを相手に分かるように話す ○物語の読み聞かせの中で、想像する楽しさを味わう ○リズムカルな動きを思いきり体を使って表現する ○友だちと歌や楽器遊びをする中で曲の感じやリズムの変化を楽しむ	○生活の中で使う言葉や文字・記号の意味が分かるようになる ○文字が自分たちの表現したいことを伝える手段であることを知り、取り入れて遊ぶ ○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ○リズムカルに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ ○様々な素材や用具を利用してイメージを実現したり、友だちと協力して製作に取り組む
	言葉による伝え合い	○考えたことや感じたことを相手に分かるように話す ○物語の読み聞かせの中で、想像する楽しさを味わう ○リズムカルな動きを思いきり体を使って表現する ○友だちと歌や楽器遊びをする中で曲の感じやリズムの変化を楽しむ	○生活の中で使う言葉や文字・記号の意味が分かるようになる ○文字が自分たちの表現したいことを伝える手段であることを知り、取り入れて遊ぶ ○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ○リズムカルに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ ○様々な素材や用具を利用してイメージを実現したり、友だちと協力して製作に取り組む
	豊かな感性と表現	○考えたことや感じたことを相手に分かるように話す ○物語の読み聞かせの中で、想像する楽しさを味わう ○リズムカルな動きを思いきり体を使って表現する ○友だちと歌や楽器遊びをする中で曲の感じやリズムの変化を楽しむ	○生活の中で使う言葉や文字・記号の意味が分かるようになる ○文字が自分たちの表現したいことを伝える手段であることを知り、取り入れて遊ぶ ○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。 ○リズムカルに表現したり、表現を工夫して動いたりすることを楽しむ ○様々な素材や用具を利用してイメージを実現したり、友だちと協力して製作に取り組む
ねらいにつながる遊び(活動)	・ルールのある遊び リレー・団体競技等 ・自然を使った遊び 虫取り・色水等 ・菜園活動 冬野菜苗植え・芋ほり ・園内運動会 係の仕事 (1年生競技参加)	・自然を使った遊び 木の葉・落ち葉等 ・挑戦遊び 竹馬・渡り棒・登り棒・鉄棒・ホッピング・大縄跳び等 ・伝承遊び けん玉・お手玉・こま・あやとり・まりつき等 ・紙芝居作り ・お店ごっこ ・短縄跳び	・郵便ごっこ ・ドッジボール ・サッカー ・劇あそび ・オペレッタ ・合奏 ・言葉遊び しりとり なぞなぞ等 ・お正月遊び かるた すごろく等 ・雪水遊び ・卒園制作
小学校との連携活動	・運動会 開会式・応援合戦(全校) 表現踊り(1・2年生)	・おもちゃランド(1年生)	・小学校探険(5年生) ・授業見学(1年生) ・お別れ遠足(全校)
配慮点 環境構成	○大運動会に向けた練習の時間が必要になるため、無理にならないよう1日の生活の時間帯を考える。 ○競い合ったり、数えたり比べたりする中で、数や量、順位や位置に興味を持たせていく。 ○自分で相談したり、協力したりしながら、生活や遊びが楽しめるよう場や時間の工夫をする。 ○我慢や頑張りが期待される場面が多くなるので、一人一人の様子に気を配り、リラックスできるように接していく。 ○活動への高まりや、協力して物事をやり遂げようとする姿を見守る。	○生活や体験の中で得た感動を、伝え合ったり共感し合ったりする。また、伝えられる場を設ける。 ○話し合いの場で消極的な子には、思いを引き出しやすい雰囲気をつくる。 ○それぞれの子供の得意不得意を把握し、一人一人の挑戦する姿を温かく見守り、できるようになったことを他の子への刺激としていく。 ○様々な活動の中で、子供同士のつながりを更に深められるよう援助する。 ○保育室等に文字環境を増やし、関心が高まるようにしていく。	○クラス全体やグループで意欲を持って取り組んだり、自分達で遊びや行事を計画したり、発展させたりする場を用意する。 ○子供達が自分達の成長を自覚でき、成長した姿を周りの人に見てもらえるような場を設ける。 ○小学生との交流の場を多くし、安心して入学できるようにする。 ○自然の中で、試したり発見したり考えたりする楽しさを十分に味わいながら、科学性が培えるよう働きかける。 ○文字や数遊びが楽しめる教材を準備し、子供の興味に合わせて出していく。
家庭との連携	・夏休み明けの生活リズムが調うように配慮をお願いする。 ・運動会等の機会を通して、保護者も子供と楽しみながら、たくましく成長している事を実感してもらえるようにする。	・お迎え時や懇談等で、子供の成長を知らせたり、体調管理に気を配ったりすることの大切さを伝える。	・1日の生活に見通しを持った行動ができるように、また就学の心構えや生活習慣の見直し等、園と家庭との協力体制をお願いする。